



2005年7月6日

各 位

住友化学株式会社
東京都中央区新川二丁目27番1号
(コード番号) 4005
(上場取引所) 東京、大阪
(問合せ先) IR・広報部長 下田 尚志
(03-5543-5102)

当社子会社である住友製薬株式会社が統合失調症治療薬候補化合物「SM-13496」に関して
米国メルク社と提携することについて

住友化学の連結子会社である住友製薬(株)は、統合失調症治療薬として自社で開発中の新規化合物 SM-13496 (一般名: ルラシドン) を全世界的に早期に上市を図るため、米国 Merck & Co., Inc. (本社: 米国ニュージャージー州) と開発・販売について提携することとしましたので、別紙発表文書の通り、お知らせいたします。

以上

平成17年7月6日
住友製薬株式会社
大阪府中央区道修町二丁目2番8号
社長 岡本 康男
TEL 06-6229-5711 (代表)

統合失調症治療薬候補化合物「SM-13496」に関して、米国メルク社と提携

当社は、統合失調症治療薬として自社で開発中の新規化合物 SM-13496 (一般名：ルラシドン) を全世界的に早期に上市を図るため、米国 Merck & Co., Inc. (本社：米国ニュージャージー州、社長兼 CEO：Richard T. Clark、以下メルク社) と開発・販売について提携することとしました。

本契約に基づきメルク社は、住友製薬のテリトリーである日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における開発・販売権を取得し、当社が米国で実施してきた臨床試験を引き継ぎ、フェーズⅠを実施し、早期の承認、上市を目指していきます。

一方当社は、権利供与の対価としてメルク社から契約一時金、マイルストーン支払い、上市後の本製品の売上高に応じたロイヤリティ支払いを受けるとともに、米国においてメルク社とコプロモーションする権利を留保しています。

SM-13496 は、当社が創製し、日本および米国で開発中のドーパミン D₂ 受容体拮抗作用とセロトニン 5-HT_{2A} 受容体拮抗作用を併せ持つ統合失調症治療薬候補の新規化合物です。統合失調症の陽性症状と陰性症状の両症状に効果があり、さらに錐体外路系副作用が極めて弱いなどの特長を有し、日本のみならず全世界市場にて大型商品への成長を期待している化合物です。

開発ステージは、フェーズⅠを欧州で実施した後、フェーズⅡを米国で実施し、現在、米国でフェーズⅢを準備中です。また、日本では現在フェーズⅠです。

当社は、SM-13496 の海外での早期承認、さらに世界市場での売上の最大化を図るための諸施策を検討していたところ、統合失調症領域で有望な導入化合物を求めていた米国のメルク社から強い興味表明があり、検討した結果、メルク社と提携することと契約締結となったものです。

メルク社との連携を図り、欧米での臨床開発を最大限支援するとともに、日本国内での自社臨床試験のスピード化を図り、日本国内での早期承認、上市を目指していきます。

当社は、メルク社とのライセンス契約締結により、日米欧における SM-13496 の開発が一層推進され、全世界において早期に上市することで医療に貢献できるものと期待します。

以上

お問い合わせ先

東京本社 広報部

東京都中央区京橋一丁目12番2号

TEL 03 - 5159 - 2505

大阪本社 広報部

大阪府中央区道修町二丁目2番8号

TEL 06 - 6229 - 5753